

羽村の案内は私たちにおまかせ！

羽村市観光ガイドの皆さん

羽村に「観光ガイド」というボランティアがいるをご存じですか。50～80歳代のメンバー10人が、観光協会のまち歩きツアーで市内を案内したり、JRの「駅からハイキング」のコース企画に協力したりして、精力的に市内外に羽村の魅力を伝えています。

この夏初めて「テーマ」からコースを決めることにチャレンジ。計画したコースを実際に歩いて水道施設を見学する「実踏」も行いました。そんな観光ガイドの皆さんに、活動の魅力などについて伺いました。



▲「やっぱりゴールはここだよね！」 『羽村の水がとどくまで』のツアーは、羽村を一望できる場所・配水塔で締めくくり。



▲「思ったより距離がありますね」朝9時から歩いています。



▲聞きたいことが次から次に出てきます。



▲職員の説明を熱心にメモ

実踏の様子

観光ガイドになろうと思ったきっかけ

中村 3年前からやっている軽便鉄道跡のツアーは大人に人気で、20人くらいの団体を1シーズンに3回以上案内することもあります。

安保 最初はウォーキングしながら羽村のことを知ることができて良いと単純に喜んでいました。でも、いろいろ勉強したり話したりしていると、単なる観光ガイドの枠を超えて考え方が広がっていくのがすごく面白いです。

金子 退職するまでは家と職場の往復だったので、自分が住んでいる羽村のことを知りたくて、観光協会の協力員に登録しました。チューリップを植えるボランティアから始めて、少しずつ羽村のことが分かってきたので、ガイドの勉強もしてみようと思ったんです。

葛尾 私は72歳を過ぎてから、老化防止のためにこれまでと全く違う世界に首を突っ込んでみたくなりました。新しい自分が出てくるかもしれないと期待してね。

中村 放送大学で外を歩く授業に参加して、ガイド付きのツアーが楽しいと感じました。羽村は小さいから、自分にもガイドができるかも、と講座に参加したのがきっかけです。

ツアー企画で羽村と水の関わりをPR

中村 今回の水をめぐるツアー「羽村の水がとどくまで」は私が言い出しっぱなしです。子どもだけでなく、大人も楽しめるツアーになりそうです。

安保 玉川上水は東京都内に水を送っているのに、実は羽村の水道水は玉川上水の水を使っていないとか、羽村の水の豆知識、知っているのと面白いですよ。

葛尾 「はむら花と水のまつり」で桜やチューリップは有名ですが、水についてももっとPRしたいと思っています。おいしい水に関連のある水道施設に絞ってコースを考えました。

金子 田んぼの底からあれだけの水が取れるのには驚きました（第一水源）。実際に一連の水道施設を見ることで、新たな発見もありました。

平田 水に関する施設はどれも立派だけれど、これからは人口も減るし、持続可能な方向で考える必要があるな、とも感じましたね。

印象に残っているツアーあれこれ

葛尾 ガイド員になって最初の頃は、説明する先輩について回っていました。昨年6月、先輩ガイド員の指示で、急ぎよ我々新米ガイド員が説明することになりました。最初のお客様さんはそれまでで最多の60人近い団体で、5グループに分けて、それぞれがグループを受け持ってガイドしました。あれこれ調べたり相談し合ったり、非常に大変だったけれど、いい経験でした。（一回うなずく）

平田 それは桶川市のグループでしたけれど、私の印象にも残っています。桶川は平地で山がないそうで「山と川があっというんです」と、とても喜んでくれました。桜の時期の写真を見せたら「その時期にぜひまた来たい」とも言ってくれて、嬉しかったですよ。



▲平田 栄一さん



▲安保 フミ子さん



▲金子 明代さん



▲葛尾 豊さん



▲中村 規子さん

取材に協力していただいた観光ガイドの皆さん